

GMP 教育訓練コース：グループワーク GW12 「コミュニケーションスキルの向上」

【開催概要】

テーマ：コミュニケーションスキルの向上に向けて

演題：コミュニケーションスキルの向上

主催：東京理科大学 薬学部 医療薬学教育研究支援センター

開催日時: 2026年3月6日（金） 13時～17時

開催場所: 東京理科大学神楽坂キャンパス森戸記念館（東京都新宿区神楽坂）

申込み: GW12 申込みは[こちら](#)

申込み締切: 2026年2月27日（金）

参加費・申込み・詳細：[ホームページ](#)からチラシ（PDF）をご確認ください。

【このグループワークで学べること】

- 自分のコミュニケーションスタイルを理解し、改善する方法
- 対立を建設的に解決するスキル
- GMP 現場で円滑な人間関係を築くための実践的アプローチ

【グループワーク概要】

GW12 はコミュニケーションスキルの向上について、以下のグループワークを予定しています。

[グループワーク 1] : Thomas-Kilmann Conflict Mode Instrument(TKI)

- 個人ワーク : TKI 日本語版 回答
- グループディスカッション：振り返り

Thomas-Kilmann Conflict Mode Instrument (TKI) は、対人関係におけるコンフリクト（対立）を分析・解決するための評価ツールです。

個人ワークでは TKI に回答し、自分のスタイルを振り返ります。グループディスカッションでは、各自の TKI の結果を踏まえて、日頃のコミュニケーションや各スタイルの向き・不向きや気づきの点についてディスカッションします。

[グループワーク 2] : 事例研究

- 課題 A : 「SOP を改善したい」
- 課題 B : 「それ違反です！」パフォーマンスの上がらない部下へのアドバイス

各グループディスカッションで課題を選択し、部下および上司のフェイス（面子）を尊重しつつ、指摘すべきことを指摘する言葉がけについて、ディスカッションします。

【グループワークスケジュール】13時～17時

1. 講義（GMP 対応マネジメント講座）の振り返り（重要ポイント）
2. グループワーク課題について説明
3. 自己紹介（受講者・ファシリテーター）&役割分担（司会・書記・発表者）
1班：5～7名＋ファシリテーター1名
4. グループワーク：約90分～120分
 - ① 個人ワーク
 - ② グループワーク
5. グループワーク発表
6. 講師解説&意見交換

※ 上記のスケジュールは目安であり、詳細は当日の課題説明の中で説明します。また、課題は参加人数によって変更する部分がございます。

【講師紹介】

- 末田 清子（すえだ きよこ）先生
- 青山学院大学 国際政治経済学部 国際コミュニケーション学科 教授
- 専門は異文化コミュニケーション

【参加対象者】

- 製造所の製造管理者やその候補となる品質保証部門（QA）等に従事する方
- 製造販売業者のGQP部門に従事する方
- 行政のGMP査察官
- これから製薬企業等でGMP、GQPの責任者、行政のGMP査察官を目指す学生
- 医薬品産業を支える施設・設備/機器関連企業や原材料メーカーに従事し、GMPについて深く学ぶ意思がある方 など

【対象マネジメント講座】

下記の講義を聴講した上で、グループワークに参加願います。なお、グループワーク当日午前中の聴講（現地で聴講）も可能です。GM12申込みは[こちら](#)

GM1201「QAに必要なコミュニケーションスキルの向上と役割期待」

GMP教育訓練コースについて

https://www.rs.tus.ac.jp/alljapangmp/gmp_training_course.html

<今後のグループワーク予定：月1回 金曜日13時～17時開催>

2026年1月16日（金）GW10「逸脱管理とCAPA計画立案（QRMによる優先度付け）」

2026年2月6日（金）GW06「最終製品の出荷判定に関する検討」

2026年3月6日（金）GW12「コミュニケーションスキルの向上」

<その他>

2026年3月13日（金）第3回QAフォーラム